

II. 社寺門柱銘

1. 岡山神社鳥居「岡山神門銘」



①小城郡小城町 岡山神社參道第一鳥居

②題字「岡山神門銘」は久米邦武筆（久米邦武博士九十
年回顧録下巻撰文集による）撰文は久米邦武

③明治21年4月（梧竹62才）楷意を含んだ隸書、陰刻。

④両柱の柱石鉛帯部分 180.0×70.0（安山岩）

岡山神社は寛政元年（1789）小城初代藩主鍋島元茂、
2代藩主直能を祀り、「國武社」と称したのを嘉永6年
(1853) 現在地に社殿をつくり遷座した社である。



2. 久本家墓地門柱銘



①小城郡牛津町 護城山正満寺（浄土真宗）境内

②題字右「承先人之祭祀」

左「肇萬代之人倫」

③明治17年12月（梧竹58才）隸書陰刻

④銘帶 170.0×27.5（安山岩）

⑤門柱の裏に別筆で下記銘がある。 右門「文久

三亥三月十六日順霊道榮居士逝去之際累代之廟所滿
牌故新墓經營嗣子兵五郎柄斐柿植漸村田地二反餘當
時寄附當代照房年來祖先尊敬有追悼之真情該石門玉桓
築造明治十七年十二月其業竣工更同鄰田地二反餘加附
總而四反餘步以久本家永世不朽為祠堂之資矣」

左門「明和元申逝去即心信以降累代之廟者該石門距
二十間北位之地其先歷世之旧墓者本寺佐賀郡中島村正
教寺存在矣 干時明治十七年第十二月 久本照房敬誌」

3. 岡山神社燈籠銘



①小城郡小城町 岡山神社境内

②題字「獻燈」「明治二十一年四月」

③明治21年（梧竹62才）隸書陰刻

④燈籠柱石銘各50.0×50.0（安山岩）



4. 勝妙寺山門銘



①小城郡三日月町深川 滝王山勝妙寺（日蓮宗）

②題字右「四海齋合六方垂久」

左「國土安穩五穀成就」

③明治28年6月（梧竹69才）篆書陰刻

④銘帯 275.0×33.5（花崗岩）

⑤右門柱裏「明治廿八年六月吉日梧竹、中村隆経書」

左門柱裏「勝妙寺勝日具・聖人立全懃代中」

梧竹
中
村
隆
経
書

勝妙寺は寺伝では約650年前、日戴上人の開基といわれる日蓮宗の名刹である。葉隱に「七歳より、がんちうのためとて武者草鞋をふませ、先祖の寺参り仕らせ候由」(葉隱聞書第2)とあるように山本常朝の実家中野家の菩提寺である。この寺には佐賀藩主、鍋島光茂、綱茂が中野数馬（名は利明、元禄12年9月23日死亡、法名淨休院道的曰恵神儀）の冥福を祈って奉納した半鐘（植木右京進作）がある。維新後一時梧竹の経済的援助をしていた中野健明との関係でこの山門銘が書かれたと思われる。

中野健明は佐賀生まれ。パリ一公使館オランダ公使館一等書記官のち大蔵大書記官、關稅局長、長崎県知事のち神奈川県知事在職中明治31年55才で死亡。

なお、この寺の什物に中野健明のために書写した「法華經神力品偈」（本文 320字、明治20年2月16日書、隸書、掛幅 184.0×94.5）が収められている。

III. 墓 碑

1. 中林経緯夫妻墓碑



②題字表 「碧梧堂鳳鳴文德居士」

「貞心院閑室能養大姉」

右側面 「天保十年巳亥八月二十四日」

「中林四郎兵衛経緯大人墓」

左側面 「明治十年丁丑三月二十八日」

「江越氏阿能養大孺人墓」

裏面 「南無觀世音菩薩」

③礎台 方形三段石組 身高77.0 幅30.0 (安山岩)

銘帶 65.5×23.0 楷書陰刻

この墓碑の記録年代は梧竹の分骨墓地薬王寺（東京都港区芝三田台町3丁目4番地）の墓銘「梧竹堂鳳栖五雲居士」（78才時の寿塔）と同一書体であるので70才後半の書と思われる。

なおこの墓碑は梧竹の父経緯、母能養の石塔である。この墓地には12基20名の中林家先祖の墓碑が佇んでいる。

祥光山星巖寺は旧小城藩主代々の菩提寺で2代藩主鍋島直能の開基で元禄3年（1690年）3代藩主元武（金栗和尚）の代に竣工した黄檗宗の名刹である。

2. 副島種臣墓碑



①佐賀市本庄町 恵日山高伝寺(曹洞宗)管理墓地

②題字 「伯爵副島種臣先生墓」

左側面 「明治三十八年一月三十日薨

中林隆經敬書」

③明治38年は梧竹79才で80才前後の書と思われる。

楷書陰刻

④方形三段組の台石、身高 176.0

銘帶 176.0×37.5 (安山岩)

副島種臣 (1828~1905文政11~明治38) 佐賀生まれ。

明治天皇に信頼のあつかった政治家で、明治初期の国際問題の処理に手腕をふるった。一方、蒼海、人々学人と号し書、漢詩をよくし清廉高潔な人格者として知られている。

梧竹とは水魚の仲といわれ、梧竹の清国渡航、伊勢幸への入居、明治天皇への書の献上なども種臣のすすめによるものである。また梧竹によせた漢詩も多い。

なお高伝寺は天文21年(1552)佐賀藩祖 錫島直茂の父清房の創建にして佐賀藩主代々の菩提寺である。

IV. 記念碑・その他

1. 桜岡公園碑



①小城郡小城町 桜岡公園東入口

②題字 「桜岡公園 中林隆経書」

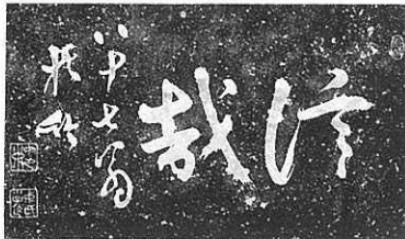
③碑の右横裏に別筆で「明治八年八月建」と新しい陰刻銘がある。梧竹の題字の篆書は後年の筆と思われる。

したがってこの碑も公園造園の記録として後で建立したものと思われる。篆書陰刻

④礎台 石積 240.0 身高 218.8 幅 135.0 (花崗岩)

小城公園は、小城初代藩主鍋島元茂、その子直能（2代藩主）によって造園されたもので、吉野山から桜を移植したといわれる。木下順庵の『桜岡記』の外、当時の儒者が詩文を送り桜の名所として天下にしられた。時に後西天皇も御製を賜わり公卿儒臣の詩を集めて「海外飛香」と題したといわれる。明治8年「公園法」にもとづき「桜岡公園」となった。小城町公民館には梧竹書の「海外飛香」の双幅がある。

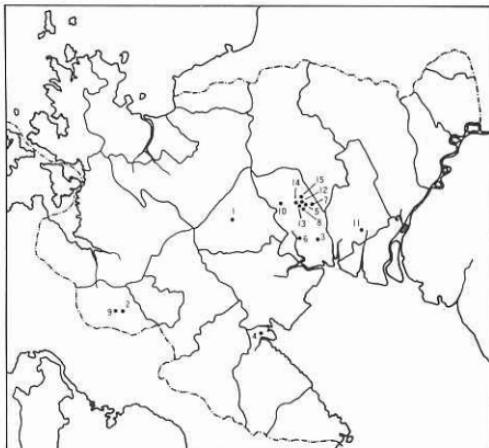
2. 梧竹退筆塚台石銘



- ①小城郡小城町 桜岡公園北端
- ②題字「信載八十七翁梧竹退筆」
- ③梧竹87翁は大正2年である。草書陰刻
- ④台石銘帯36.0×63.0（安山岩）

「梧竹退筆塚」（身高 500.0）の銘は小城第11代藩主鍋島直虎の筆である。この退筆塚は梧竹の遺志によって大正3年建設されたもので、もとは小城町公民館横に建っていたものを昭和44年現在地に移された。

碑石所在地



1. 多久茂族碑
2. 江越礼太碑
3. 江口保定碑
4. 谷口藍田碑
5. 岡山神社鳥居
6. 久本家墓地門柱
7. 勝妙寺山門
8. 岡山神社燈籠
- (9) 江越礼太墓碑
10. 中林経縁夫妻墓碑
11. 副島種臣墓碑
12. 桜岡公園碑
13. 梧竹退筆塚
- (14) 甲戌烈士之碑
- (15) 神輿記念碑

()は未拓の分

梧竹筆とされている碑石は、この外に「神輿記念碑」裏銘「明治三十三年九月建焉在台湾小城人」（小城町頃賀神社境内）②「甲戌烈士之碑」裏銘「明治二十三年同志者建之、戦死諸君 留守経昌外12名を除刻」（小城町小城公園北端）③「江越礼太夫人墓」裏銘「以文政十年丁亥○門六月十一日生至明治廿五年一月卅一日卒 男 江越孝太郎 江越米次郎建焉」（有田町白川墓地）の3基があるがいずれも碑面の凸凹がはげしく、危険もともなうので

3. 梧竹退筆塚觀音祠堂台石銘



- ①前回
- ②題字「王申春 和同 忘言団」
- ③壬申は明治5年（1872）（梧竹46才）行書陽刻
- ④台石銘帯26.0×49.3（安山岩）

梧竹退筆塚は間口8m奥行5mの土壇で入口の石段左右に篆書の「書聖垂範」「自強乃成」の石門があり石燈籠、退筆碑、觀音石祠が並んでいる「建立寄附人名」の碑名によると町内 169名 324円10銭 町外58名 120円総計227名444円10銭の寄附金で建立され 大正3年9月13日追悼法会並びに除幕式が行なわれている。

採拓しなかった。

他に①三間山正伝院（小城町三間寺）境内の本村家の墓碑三基②小城公園の後西天皇の御製及び公柳儒臣の歌20首は梧竹の模写といわれているが梧竹研究家の間では異論もあるので再検討をまって採拓することにした。

なお本稿については、梧竹研究家佐々木盛行氏から色々と御高教をいただき取扱は当館の志佐・森・尾形があたった。《学芸課 尾形善郎》

博物館日誌

- 4月1日 人事異動
 4月6日 常設展開場
 4月11日 第一工房高橋謙一所長、大阪芸術大学長坂本氏夫妻、カルフォルニヤ美術工芸大学長ハリー・フォード夫妻来館
 4月16日 「納富進遺作展」開場
 4月25日 オランダ・アムステルダム大学 ヴァンオルト教授来館
 5月5日 「こどもの日」のため常設展無料公開
 5月8日 「納富進遺作展」終了(総観覧者数 5,908名)
 5月20日 大分県教育長矢野朔雄氏
 沖縄県教育長 仲根根繁氏来館
 5月21日 「第16回日本現代工芸美術展」開場
 5月28日 石川県立郷土資料館 吉岡康輔氏来館
 5月30日 東京国立博物館考古課長 三宅敏之氏来館
 5月31日 名古屋大学助教授 楠崎彰一氏、三重大学教

- 授服部貞蔵氏 石川県美術館副館長 鳩崎承氏、
 武庫県陶磁器陳列館長 古川庄作氏、石川県教育委員会 平田天秋氏、江崎武氏米館
 文部省高等学校教育課長 菊村幸彦氏来館
 6月5日 「第16回日本現代工芸美術展」終了(総観覧者数 5,262名)
 6月11日 京都国立博物館考古室長 八賀普氏来館
 6月16日 「佐賀美術協会展」開場
 6月21日 「佐賀美術協会展」終了(総観覧者数 2,451名)
 7月4日 日本大学教授 吉田隆氏来館
 7月9日 「池田幸太郎遺作展」開場
 7月13日 熊本立博物館山本英夫氏、山田昌之氏来館
 7月18日 北九州市歴史資料館武末氏来館
 7月19日 鍋島直泰御夫妻、北風倚子氏来館
 7月22日 移動博物館打ち合せ会
 7月24日 池田草二氏来館

行事のお知らせ

修学旅行等の計画に博物館の見学を折込んで下さい。

常 股 展			
佐賀県の歴史と文化展	4月6日～8月7日 53年 11月13日～1月25日	大人 50(30) 大・高生 30(20) 中・小生 20(10)	佐賀県の地質や自然および先史時代から現代にいたる歴史と文化についての、理解を深めるために自然史、歴史、美術工芸、民俗の各部門について、系統的に資料を展覧する。

企 画 展			
展覧会名	会 期	観 覧 料 (内)は別体料金	展覧会名 会 期 観 覧 料 (内)は別体料金
梧竹展	8月20日～9月11日 会期中無休	大人 200(150) 大・高生 100(80) 中・小生 50(30)	佐賀県高等学校美術展 12月1日～12月6日 会期中無休 無 料
理科作品展	9月6日～9月14日 10日は休み	無 料	佐賀県学童美術展 12月10日～12月15日 会期中無休 無 料
鍋島更紗・段通 日本の更紗・世界の更紗展	9月17日～10月16日 会期中無休	大人 300(200) 大・高生 150(100) 中・小生 80(50)	教職員美術展 12月18日～12月23日 会期中無休 無 料
佐賀県美術展	10月29日～11月6日 会期中無休	大人 150(100) 大・高生 100(70) 中・小生 50(30)	佐賀県高等学校書道展 53年 1月14日～1月20日 会期中無休 無 料
大学総合美術展	11月9日～11月12日 会期中無休	無 料	書初展 1月22日～1月28日 会期中無休 無 料
九州グラフィック デザイン展	11月14日～11月20日 会期中無休	無 料	二科展 2月4日～2月19日 会期中無休 大人 300(250) 大・高生 200(150) 中・小生 100(50)
勤労者美術展	11月23日～11月28日 会期中無休	無 料	古代のくらしのなかの器展 ～九州の生活・古墳時代～ 3月1日～3月30日 会期中無休 大人 200(150) 大・高生 100(50) 中・小生 50(30)
			佐賀大学卒業制作展 3月18日～3月21日 会期中無休 無 料

●新刊書案内

「池田幸太郎遺作展」

先般、開催した池田幸太郎遺作展の作品、素描・スケッチ58点を収めた図録を作成いたしました。学校教材用として、また、郷土出身画家の美術資料としてご参考になると存じます。

形態B5版 アート紙 19頁

額布価格 200円 申込みは当館に

博物館報	第37号
発行年月日	昭和52年8月1日
編集大園弘	
発行 佐賀市城内1丁目15～23	
佐賀県立博物館	
印 刷 日之出印刷株式会社	